

平成16年度

決算報告書

国立大学法人豊橋技術科学大学

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 豊橋技術科学大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	4,075	4,075	0	
施設整備費補助金等	28	28	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	7	22	15	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
自己収入	1,326	1,244	△82	
授業料及び入学金検定料収入	1,264	1,164	△100	(注2)
雑収入	62	80	18	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	615	1,252	637	(注4)
長期借入金収入	0	0	0	
計	6,051	6,621	570	
支出				
業務費	5,401	5,301	△100	(注5)
教育研究経費	4,698	4,640	△58	
一般管理費	703	661	△42	
施設整備費等	28	28	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業経費等	615	593	△22	(注6)
長期借入金償還金	7	22	15	(注7)
計	6,051	5,944	△107	
収入-支出	0	677	677	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、補正予算で繰り上げ償還したことにより、決算金額が15百万円多額となっている。

(注2) 授業料及び入学金検定料収入については、授業料の前納(128百万円)を行わなかったこと等により、決算金額が100百万円少額となっている。

(注3) 雑収入については、予算段階では予定していなかった講習会の開催(5百万円)及び委託事業の獲得(9百万円)に努めたこと等により、決算金額が18百万円多額となっている。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、寄附金承継分(593百万円)を計上したこと等により、決算金額が637百万円多額となっている。

(注5) 業務費については、退職手当の所要額(106百万円)が減少したこと等により、決算金額が100百万円少額となっている。

また、損益計算書に計上されている役員人件費及び職員人件費の一般管理費相当額は、決算報告書上、一般管理費に含めて表示されている。

(注6) 産学連携等研究経費及び寄附金事業経費等については、産学連携等研究収入増に伴う28百万円の増及び寄附金収入に比して50百万円の減により、決算金額が22百万円少額となっている。

(注7) 注1に示した理由により、決算金額が15百万円多額となっている。